

## 心不全マーカー検査で“隠れ心不全”を早期発見

高齢化が進むとともに爆発的に増えていると言われる心不全患者。初期には自覚症状がなく、早期発見が難しい病気です。今回は心不全のスクリーニング検査として役に立つ心不全マーカー検査についてご紹介します。

### 心不全マーカー（BNP・NTproBNP）検査とは

心臓に負荷がかかったときに心臓から分泌されるホルモンを測る血液検査です。心臓の負担の大きさを反映する指標で、心臓が弱り始めた“隠れた心不全”の段階でも上昇しやすく、早期発見に役立ちます。

### こんな方は定期的な検査がお勧め

- ・高血圧、動脈硬化性疾患、糖尿病、慢性腎臓病、肥満などがある。
- ・心臓の構造的または機能的な異常がある、BNPが高値である。
- ・息切れや下肢のむくみがある。

特に高齢者では症状を「年齢のせい」と見過ごしやすいため、スクリーニングとして非常に有用です。

### 基準値（BNP $\geq 35$ pg/mL、NTproBNP $\geq 125$ pg/mL）を超えていたら

- ・循環器内科へ相談し、必要に応じて心電図、心エコー（心臓超音波）、胸部レントゲンなどの精密検査を受けましょう。
- ・減塩（食塩6g/日未満）、適正体重の維持、運動、節酒、禁煙、感染予防など生活習慣を改善することも重要です。心不全の悪化を防ぎながら長く安定した状態を保つことにも繋がります。

### 検査値の解釈で注意すべき点

高齢、炎症、腎機能障害、貧血、心房細動、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬等で高値を示し、肥満では低値を示すことがあります。年齢・性別・腎機能等を踏まえて総合的に判断する必要があるため、個別の数値の解釈や診断は、必ず医療機関で相談しましょう。

